

注目されるインバウンド消費 ～一段と求められる滞在時間延長への取り組み～

訪日外国人旅行消費額は大きく増加

2024年4-6月の広島県の訪日外国人旅行消費額は181億円（2019年同期比+75億円）と大幅に増加しました（図表1）。宿泊費（同+27億円）や飲食費（+20億円）をはじめ、各費目ともコロナ禍前を大きく上回っています。

昨年4月の渡航制限解除後、G7広島サミット開催や為替の円安進行などを背景に、広島県を訪れる外国人観光客数が急速に回復したに加え、昨今の物価高に伴う消費単価の上昇が旅行消費額の増加に寄与しているとみられます。

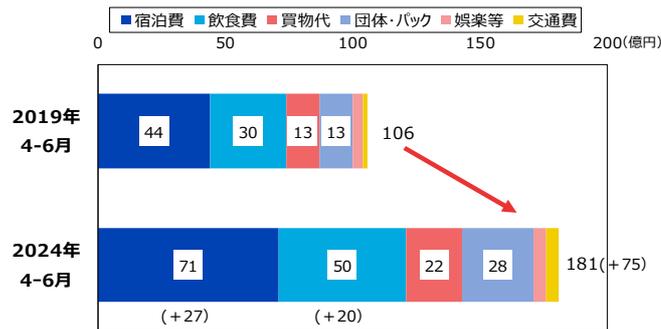
単価引き上げに向けた取り組みの強化を

ただし、2024年4-6月の旅行消費単価は4.7万円（2019年同期比+29.6%）に増加したものの、地方中枢都市を有する他道県に比べ、単価水準、伸び率ともに依然低位にとどまっています（図表2）。

その主な要因としては、広島県は一人当たりの宿泊日数が1.4泊程度と少なく、旅行者数の増加が消費額の増加に十分に結び付いていないことが挙げられます（図表3）。

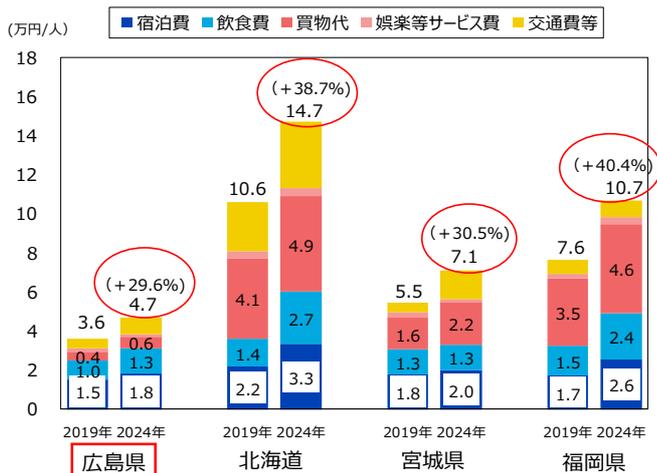
広島県が、外国人旅行者の「旅の目的地」として選ばれることで滞在時間が延長され、消費単価の上昇を通じて消費額が増加する“好循環”に向けた取り組みの強化がこれまで以上に求められています。

図表1 広島県の訪日外国人旅行消費額



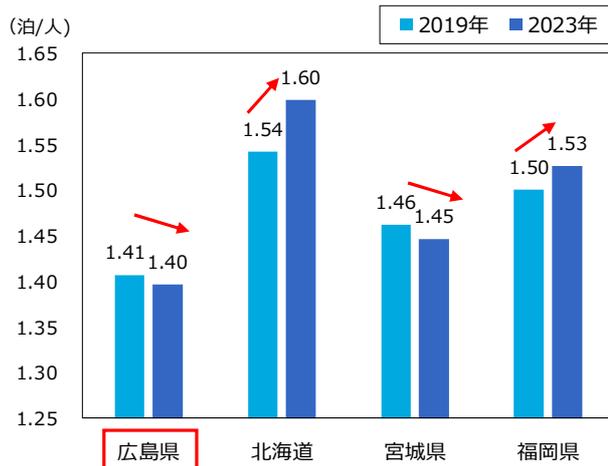
(注) 括弧内は2019年同期比
(資料) 観光庁「インバウンド消費動向調査」よりひろぎんHD 経済産業調査部（以下、当部）作成

図表2 訪日外国人の旅行消費単価



(注1) 各年4-6月の数値 (注2) 括弧内は2019年同期比
(資料) 観光庁「インバウンド消費動向調査」より当部作成

図表3 外国人宿泊者一人当たりの宿泊日数



(資料) 観光庁「宿泊旅行統計調査」より当部作成

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：稲田（Tel.082-247-4958）までお願いします。